

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	村澤ゼミ III	<b>チーム名</b>	Work naseeker
<b>タイトル</b>	大学生は就活に対してどのような姿勢で取り組むべき？（仮）		
<b>テーマ群</b>	(a)理論・情報 (e)産業・企業		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>[研究動機]</p> <p>私がこの研究を始めようとした動機は、私がこの研究計画書を書いている時点でまだ内定をもらえていないからです。具体的に書きますと、教授が未内定の私を見かねて、大学生の内定要因を研究テーマにしたらいいのではと参考論文とともにアドバイスをしていただいたことがきっかけです。この研究を通じて私がなぜ就職活動に失敗したのか、就職活動が成功した人ななぜ成功したのかを知ることができ、後輩にとってもいい研究になると考え、最終的にはこの研究をやることを決断いたしました。</p> <p>[この研究の目的]</p> <p>私が考えるこの研究の最終目的は、甲南大学生の後輩にどのように就職活動に対して取り組むべきかのヒントを示すことです。この研究発表を聞いている後輩の中にも、就職活動に対して不安を抱いているでしょう。私自身就職活動は失敗したと考えています。そして後輩にも同じような失敗をしたくないと考えています。この研究がその不安を打ち砕く材料になれば幸いです。</p> <p>[研究内容]</p> <p>研究の内容は ssjda の個票データを用いたプロビット分析です。ssjda という東京大学社会科学研究所が出している個票データ(若年・壮年パネル調査)を用いて大学 4 年生の正社員内定要因を調べます。正社員を 1、非正社員を 0 とするダミー変数を被説明変数とし、その被説明変数に対してプロビット分析を行います。また、就職活動の開始時期や行動、成績、大学時代に打ち込んだことなどを説明変数とします。その分析結果をもとに内定要因は学生自身の特性によるものか、就職活動によるものかを明らかにしていきます。</p>		